

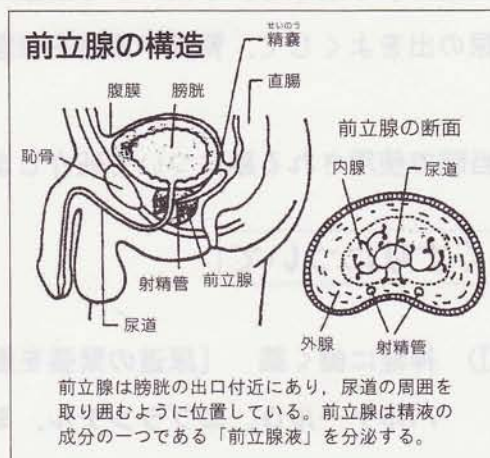
# 前立腺肥大と薬

## <前立腺肥大とは・・・>

前立腺は、膀胱（ぼうこう）のすぐ下に尿道を包むようにしているちょうど栗の実ほどの臓器です。精のうとともに精液の液体の部分を作る働きがあります。

前立腺肥大症は、高齢の人に多いといわれます。加齢により前立腺が大きくなり、尿道が挟まるために尿の通りが悪くなります。症状がさらにすすむと腎臓の働きに支障をきたし尿毒症という病気を引き起こしたりもします。

（右の図は、きょうの健康1999. 1月号より抜粋）



## 日常生活の注意

### ★お酒はほどほどに

アルコールは前立腺をうっ血させて尿を出にくくさせます。

前立腺肥大症の方がアルコールを飲み過ぎると、尿意はあるのに尿が1滴も出ない苦しい状態（尿閉）に急に陥ることがありますので、ご注意ください。

### ★下半身を冷やさないように

下半身を冷やすと、前立腺も寒さによって収縮し尿道を締め付けるため、尿が出にくくなります。特にお酒を飲んだ後に薄着で外に出たりすると、尿閉になりやすいのでご注意ください。

### ★長時間の座ったままの姿勢は避けましょう

長時間座ったまましていると、血液循環が悪くなり下半身に血が貯留するので、前立腺もうっ血し尿が出にくくなります。時々立ち上がって歩くようにしましょう。

### ★排尿はあまり我慢しないように

トイレに行くのが億劫なために、つつい我慢してしまうことは、体に良くありません。寝室に尿瓶や簡易トイレを置いて対処されるのも一つの方法です。

### ★飲み水は制限しないように

就寝中や会議中のトイレ回数を減らそうと飲み水を制限すると、腎臓に水分が足りなくなり体内の老廃物を十分に排出できなくなります。腎臓に十分な水分を与えるためにも、飲み水は適度にとるように心掛けてください。

### ★かぜ薬や胃腸薬の服用にも気を付けて

かぜ薬や胃腸薬には、尿を出にくくする成分が入っている場合があります。市販の薬を服用する場合にも医師や薬剤師に一度ご相談ください。

## <治療>

お薬による治療と、手術による治療があります。

尿の出をよくして、腎臓や尿路を保護して、感染が起こらないようにするのが目的です。

当院で使用される薬について紹介します。

### くすりについて

- ① 神経に働く薬 [尿道の緊張を緩めて膀胱からの尿の排出を促します]

ハルナールD、エブランチル、ミニプレス、フリバス

神経（交感神経）に直接働いて尿道の緊張を抑え尿道を広げて、尿の流れをよくします。

お薬をのみはじめた当初は、立ちくらみが起きることがあるため、夜間にトイレに起きるときなど十分注意してください。

- ② 植物製剤 [はれをおさえます]

エビプロスタット

前立腺のはれや炎症を抑えます。植物エキスを成分にしています。

- ③ ホルモン剤 [前立腺の肥大を抑えます]

プロスターール

男性ホルモンの働きを抑えることで、肥大した前立腺がこれ以上大きくならないようにします。

薬の中には、尿が出にくくなるなど症状を悪化したり、薬の飲みあわせも有りますので、受診するときには必ず前立腺肥大であることを伝えて、飲んでいるお薬を医師、薬剤師などに見せてください。

医師に相談無しに、自己判断で飲むのを止めたり、飲む量を変えたりしないでください。